

【基礎分野】

授業科目名		倫理学			
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	1 年次前期	DP	1・2・3
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	<p>近年の生命科学や医療技術の進歩によって、保健医療の現場には新たな倫理的ジレンマが生じ、看護職にも倫理的根拠に基づいた判断が求められている。生命倫理学の諸問題に関する理解を深め、「人間とは」、「生と死とは」、「対象を尊重するとは」という問いについても考え、医療従事者として必要とされる倫理観を養う。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の存在や人権について自ら考えて、多様な価値観を尊重することの必要性について理解することができる。 2. 現代の生命倫理の諸問題について理解できる。 3. ものごとの本質を問う姿勢を身につけ、根拠に基づく倫理的な思考でものごとを考えることができる。 				
回数	授業内容			授業方法	
1	生命倫理学とは何か			講義	
2	生の誕生と生命倫理（生殖技術、出生前診断、遺伝子技術など）			講義	
3	医療倫理の 4 原則			講義	
4	生の終わり終わり倫理（移植、脳死、安楽死、尊厳死、ターミナルケア）			講義	
5	科学的医学の論理と倫理			講義	
6	インフォームド・コンセント			講義	
7	今後の医療と生命倫理学			講義	
8	「人間」、「生きる」とは何か			講義	
教科書					
系統看護学講座 別巻 看護倫理					
評価方法・評価基準					
筆記試験は 80 点、レポート 20 点の合計 100 満点とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名	生物学				
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	1 年次前期	DP	1・2・3
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	生物学的な視点から人間を理解できることで、人間の身体の仕組みや疾病・治療を理解できるための基礎的知識を習得する。				
到達目標	生命の共通原理を学び、生物学的な人間の特性を理解できる。				
回数	授業内容			授業方法	
1	生物学の基礎 ～ 生物とは、生命の出現、生物の分類 ～			講義	
2	細胞（単位膜、オルガネラの説明）			講義	
3	生物を構成する物質（原子、分子、PH、糖質、タンパク、核酸）			講義	
4	代謝（栄養素、消化・代謝、ATP、酵素、糖・脂質、核酸・アミノ酸の代謝）			講義	
5	遺伝と DNA（メンデル遺伝、染色体の構造、DNA 複製、突然変異）			講義	
6	遺伝情報の発現／細胞の増殖と死（細胞周期、減数分裂、アポトーシス等）			講義	
7	生殖、発達、分化（生殖細胞、受精・発生、ヒトの発生の受精、発生～出産）			講義	
8	個体の恒常性			講義	
教科書					
系統看護学講座 基礎分野 生物学					
評価方法・評価基準					
筆記試験は 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名	心理学				
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	1 年次前期	DP	1・2・3
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	人間の心理や行動の基礎となる原理を学び、人間の行動や態度についての科学的理解を基にして、日常の関わりの中での人物の行為について、人間の心理が行動にどう影響を及ぼすかを理解できる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の心理や行動の基礎となる原理や成長発達段階についての科学的理解を学ぶ。 2. 社会生活の中で自己と他者の共通性・個別性を知り、人間の心理が行動にどう影響を及ぼすかを理解できる。 				
回数	授業内容			授業方法	
1	心理学とは			講義	
2	感覚と知覚			講義	
3	記憶と学習			講義	
4	言語、知能と思考			講義	
5	感情、動機づけ			講義	
6	パーソナリティ			講義	
7	生涯にわたる発達と発達課題			講義	
8	ストレスコーピング			講義	
教科書					
系統看護学講座 基礎分野 心理学					
評価方法・基準					
筆記試験は 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名	論理学				
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	1 年前期	DP	1・3
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	物事を論理的にとられるための思考をみにつけ、思いや考え、感情を表現する能力を養う。				
到達目標	物事を論理的にとらえるための思考や方法について学び、論理的に表現できる。				
回数	授業内容			授業方法	
1	論理学とは何か、表現法			講義	
2	思考の整理術 (MECE とSo What?/Why So?)			講義	
3	論証とは何か (根拠の重要性その 2)			講義	
4	論証とは何か (演繹 (deduction) と帰納 (induction))			講義	
5・6・7	ディベートおよび討議			GW	
8	メッセージの伝え方			講義	
教科書					
講師資料					
評価方法・基準					
筆記試験は 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名	情報科学				
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	1 年次前期	DP	1・2・3
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	医療・看護において情報の伝達・共有・蓄積などの情報の活用は電子媒体を中心に行われるようになり、医療・看護の質の向上と効率化を図る上で情報の管理、利用について正しく理解する必要がある。このことから情報社会に対応できる能力を養い、科学的思考のもとに看護を実践するために、情報科学の基礎知識・技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療および看護における情報システムについて理解できる。 2. 情報を取り扱う時の倫理的側面について理解できる。 3. 基礎的な文章処理と統計処理ができる。 				
回数	授業内容			授業方法	
1	オリエンテーション、医療システム			講義・タイピング	
2	情報倫理、患者の権利と情報、情報セキュリティ、個人情報の保護			講義・タイピング	
3	パソコン・インターネット、Word：文字情報の整理			講義・タイピング	
4	情報リテラシー Word			講義・タイピング	
5	情報リテラシー Excel による統計処理 (1)			講義・タイピング	
6	情報リテラシー Excel による統計処理 (2)			講義・タイピング	
7	情報リテラシー PowerPoint の基礎			講義・タイピング	
8	PowerPoint・総括			講義・タイピング	
教科書					
系統看護学講座 別巻 看護情報学					
評価方法・評価基準					
レポートを 100 点満点とし、60 点以上を合格とする。					

授業科目名	社会学				
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	1 年次後期	DP	1・2・4
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	現代社会の構造・機能を学び、社会的存在としての人間や家族を理解する。				
到達目標	1. 現代社会の仕組みを理解できる。 2. 社会的存在としての人間や社会構造の最小単位である家族について理解できる。				
回数	授業内容			授業方法	
1	社会学とはどのような特徴をもつか ー社会を理解できるー			講義	
2	社会のさまざまな形と定義			講義	
3	社会的存在である人間			講義	
4	現代社会の特徴、人権やジェンダー			講義	
5	家族とは			講義	
6	これからの社会における家族			講義	
7	現代の社会システム			講義	
8	地域社会、地域社会の重要性			講義	
教科書					
系統看護学講座 基礎分野 社会学					
評価方法・評価基準					
筆記試験は 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名	教育学				
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	1 年次後期	DP	1・2・3
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	人間形成に必要な教育の意義と教育方法を理解する。また教育学を学習することで、専門職業人として主体的に学ぶ姿勢を持つと共に、患者教育・指導の基礎となる能力を習得する。				
到達目標	人間形成に必要な教育の意義と教育方法を理解できる。				
回数	授業内容				講義方法
1	ガイダンス、教育における特権と差別：マイクロアグレッションについて				講義
2	教育格差：イギリスとアメリカの事例から考える				講義
3	現代教育における諸問題 1：ジェンダーと性差別				講義
4	現代教育における諸問題 2：LGBTQIA2+				講義
5	現代教育における諸問題 3：子どもの貧困問題				講義
6	現代教育における諸問題 4：反貧困学習				講義
7	現代教育における諸問題 5：若者の逸脱と支援				講義
8	ディスカッション：これまで扱ったテーマについて話し合う				ディスカッション
教科書					
系統看護学講座 基礎分野 教育学					
評価方法・基準					
筆記試験は 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名		生活科学				
単位・時間数		1 単位 15 時間	開講年次	1 年次前期	DP	1・2・3
担当講師						
実務経験の有無		無	実務経験内容	無		
目的		私たちの生活はかつてと比較にならないほど物質的に豊かになり、ライフスタイルも多様化してきた。この科目では、生活者と環境との相互関係から日常生活における様々な問題に焦点を当て、科学的な視点から人間が健康で快適・安全な生活を送るための基礎的知識を習得することを目的とする。				
到達目標		人間の生活と環境との相互作用、また日常生活における生活上の問題点とその対策について理解し、説明できる。				
回数	授業内容				授業方法	
1	循環型社会の快適な居住環境				講義	
2	健康的な住まい、人と住まいの健康と室内環境				講義	
3	高齢者と住環境				講義	
4	睡眠環境				講義	
5	食生活と環境				講義	
6	衣生活と環境				講義	
7・8	バリアフリー／ユニバーサルデザイン（事例紹介）				講義	
授業方法						
<p>授業は講義中心で行いますが、グループワークを行うこともあります。</p> <p>グループ内での積極的な発言・参加を期待します。</p> <p>グループ内でまとめたことを発表していただきます。</p>						
教科書						
<p>講師資料</p> <p>医学書院のeテキストの中にも参考になる箇所があるので、その都度紹介します。</p>						
評価方法・基準						
<p>筆記試験：80点 レポート：20点</p> <p>合計100点で、60点以上で合格とする。</p>						

授業科目名	人間関係論				
単位・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	1 年次前期	DP	1・2・3・4・5
担当講師					
実務経験の有無	有	実務経験内容	臨床心理士・公認心理士・カウンセラー		
目的	社会心理の観点から、人間の個人および集団における関係性や行動への影響を学び、人間関係を円滑に保つ必要性と方法を理解する。また、これらを学ぶことで、援助的人間関係を築く、またチーム医療においてリーダーシップ・メンバーシップを発揮するための基礎的能力を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関係性や行動への影響を学び、人間関係を円滑に保つ必要性と方法について理解できる。 2. カウンセリング理論を学び、具体的技術が理解できる。 				
回数	授業内容			授業方法	
1	オリエンテーション 自分を知る			講義	
2	自分を知る エゴグラム			講義	
3	自分を知る			講義	
4	人間関係とコミュニケーション			講義	
5・6	コミュニケーション演習			講義・演習	
7・8	自己理解と他者理解			講義	
10・11	社会と個人（対人援助行動）			講義	
12・13	集団における人間関係			講義	
14	傾聴のあり方、カウンセリング			講義・演習	
15	カウンセリングの実際			講義・演習	
教科書					
系統看護学講座 基礎分野 人間関係論					
評価方法・基準					
筆記試験は 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名	英語 I				
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	1 年次前期	DP	1・2・4
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	看護分野における国際協力など看護を国際的視野でとらえ広く社会に貢献できる能力が求められていることから、医療および看護用語を理解する。				
到達目標	医療・看護用語について理解できる。				
回数	授業内容			授業方法	
1	授業の目的及び進め方、提出物、小テスト、評価方法などのガイダンス			講義 音読 会話	
2	Chapter 3 Patient-Nurse relationship			講義 音読 会話	
3	Chapter 3 の復習			講義 音読 会話	
4	Chapter 4. Communication with a patient			講義 音読 会話	
5	Chapter 4 の復習			講義 音読 会話	
6	Chapter 5 Intercultural communication with a patient			講義 音読 会話	
7	Chapter 5 の復習			講義 音読 会話	
8	Chapter 6 Doctor-Nurse relationship			講義 音読 会話	
9	Chapter 6 の復習			講義 音読 会話	
10	Chapter 7 Related professionals			講義 音読 会話	
11	Chapter 7 の復習			講義 音読 会話	
12	Chapter 8 Nurses and the hospital			講義 音読 会話	
13	Chapter 8 の復習			講義 音読 会話	
14	Chapter 9 Nurses and the community			講義 音読 会話	
15	Chapter 9 復習			講義 音読 会話	
	全般的な質疑応答・模擬テスト				
教科書					
"A Healthy Life for Today and Tomorrow"					
評価方法・基準					
筆記試験は 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名	英語Ⅱ				
単位・時間数	1 単位 15 時間	開講年次	2 年次前期	DP	1・2・4
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	看護分野における国際協力など看護を国際的視野でとらえ広く社会に貢献できる能力が求められていることから、臨床看護で使う基礎的な英会話を身につける。				
到達目標	臨床看護に必要な基礎的な英会話ができる。				
回数	授業内容			授業方法	
1	Meeting colleagues (Unit 1)			講義・ペアワーク	
2	Nursing Assessment (Unit2)			講義・ペアワーク	
3	The patient ward (Unit 3)			講義・ペアワーク	
4	Food and measurements (Unit 4)			講義	
5	The body and movement (Unit 5) ➤ REVIEW (Units 1-5) ➤ TEST (30-minute short quiz and 15-minute checking time of answers)			講義・ペアワーク	
6	Medication (Unit 6)			講義・ペアワーク	
7	The hospital team (Unit 7)			講義・ペアワーク	
8	Recovery and assessing the elderly (Unit 8) Review (Unit6-8)			講義	
教科書					
NURSING① Student's Book					
評価方法・基準					
筆記試験は 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名	自己表現法				
単位・時間数	1 単位 20 時間	開講年次	1 年次前期	DP	1・4・5
担当講師					
実務経験の有無	無	実務経験内容	無		
目的	他者に自分の思いや考えを伝えることは看護をおこなっていく上で必要である。柔軟に臆することなく自分の思いや考えを表現する能力とともに、相手に対する理解をしていく基礎的態度を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 芸術（音楽・芸術鑑賞）に触れることで感性を磨く。 2. パフォーマンス（自己表現）の能力を養う。 				
回数	授業内容			授業方法	
1	表現技法			8 時間	
2	表現技法			講義・実技	
3	表現技法			実技	
4	表現技法			実技	
5	音楽			8 時間	
6	音楽			講義・実技	
7	音楽			講義・実技	
8	音楽			講義・実技	
9	芸術鑑賞			4 時間	
10	芸術鑑賞			講演	
教科書					
なし					
評価方法・基準					
レポートは 100 点満点(表現技法 40 点、音楽 40 点、芸術鑑賞 20 点)とし、60 点以上で合格とする。					

授業科目名		キャリアデザイン I				
単位・時間数		1 単位 30 時間	開講年次	1 年次前期	DP	1・2・4・5
担当講師						
実務経験の有無		無	実務経験内容	無		
目的		看護のキャリアを形成していくために、問題意識をもち、自己を見つめ、実現したい思いを行動に移す能力が必要である。専門職としての、成長・発達、自己研鑽の意味などを学び、自身の将来設計を考え進んでいく基礎的能力を学ぶ。				
到達目標		<ol style="list-style-type: none"> 1. キャリアを自分自身の課題ととらえ、学生生活の目標や将来の方向性について、現時点での考えを説明できる。 2. 実現したい課題に対する取り組み方法わかる。 				
回数	授業内容				授業方法	
1	オリエンテーション 自己アピール、他者から見た自分（自己理解）				講義・GW	
2	自己を見つめる				講義・GW	
3	対人関係 1～ケーススタディ～				講義・GW	
4	対人関係 2～対話トレーニング～				講義・GW	
5	将来設定				講義・GW	
6	自己の過去、現在、未来を描き、将来展望を考える チームビルディング 1～チームの形成 ASE の手法を用いて～				講義・GW	
7	チームビルディング 2～チーム医療を学ぶ～				講義・GW	
8	命について考える ～ディベート～				講義・GW	
9	協同学習～対象の理解～ (小児科病棟、高齢者施設へのレクリエーションの企画)				講義・GW	
10	プレゼンテーション					
11	リフレクション				講義・GW	
12	協同学習（2年生プログラム体験）				講義・GW	
13	協同学習（2年生プログラム体験）				講義・GW	
14	テスト					
15	まとめ(トーキングスティック)				講義・GW	
教科書						
講師資料						
評価方法・基準						
レポートは 100 点満点とし、60 点以上で合格とする。						

授業科目名		キャリアデザインⅡ			
単位・時間数	1 単位 30 時間	開講年次	2 年次前期	DP	1・2・4・5
担当講師					
実務経験の有無	有	実務経験内容		看護師	
目的	<p>看護のキャリアを形成していくために、問題意識をもち、自己を見つめ、実現したい思いを行動に移す能力が必要である。</p> <p>キャリアデザインⅠで学んだことをもとに課題（目標）の実現にむけて取り組む実践能力を養う。また、看護観を持ち言語化できることは、看護職に就くうえで重要となる。看護現場においては、患者の看護計画を立て、それをカンファレンスで表現する。個々の患者に応じた看護が求められる時代であり、多様なニーズに対応するため、自身の看護観の確立と、言語化できることをねらいとする。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実現したい課題に対する取り組みができる。 2. 大切にしたい看護を明確にすることができる。 				
回数	授業内容			授業方法	
1	オリエンテーション			2 時間 講義・GW	
2	協同学習（組織について学ぶ・対象の理解）			16 時間 講義	
3	協同学習（目的の設定・プログラムデザイン）			講義・演習	
4	企画書作成、役割分担			演習	
5	プレゼンテーション			発表	
6	1 年生プログラム実践			発表	
7	1 年生プログラム実践			発表	
8	リフレクション			講義・GW	
9	まとめ			講義	
10	看護探究セミナー（企画・運営）			12 時間 演習	
11	看護探究セミナー（企画・運営）			演習	
12	看護探究セミナー			演習	
13	看護探究セミナー：プレゼンテーション			演習	
14	看護探究セミナー：プレゼンテーション			演習	
15	リフレクション・まとめ			講義・GW	
教科書					
講師資料					
評価方法・評価基準					
レポートは 100 点満点（赤木 55 点、小堀 45 点）とし、60 点以上で合格とする。					